

しぐじい

本当に正しい？ 真に正しい？

校長 西山 守

朝夕に冷え込みを感じ、季節の移り変わりを想うころとなりました。子どもたちは、運動会での体験をもとに日々の学習や学芸会の練習に励んでいます。



学芸会

心を込めて

演技する

11/22・23

さて、少し前に読んだ本に書かれていることから、考えることができました。

その本は、社会学者と心理学者の対談をまとめたものですが、その中で以下のような趣旨のことが述べられており、心に残りました。

今の制度や社会の様相を考えたとき、人々を幸福にできる新しい社会の枠組みをつくるのは極めて困難で、実現しがたい。

幸せを実現するために自分が考えるのは、コミュニティ（地域社会）を創ることである。そのコミュニティの成員は、こう考えていることが必要である。「**本当に幸福になれる人は、他人を幸せにできる人、幸せにしようとする人だけだ。**」と。

自己の幸せばかりを求める人は、地域や社会全体の幸福には貢献できないということを含んでいと捉えました。また、一人一人が他者の幸せのために、機会があれば自分にできることをしようと考え行動することによってのみ、結局、自分も含めた全員が幸せになれるということだと考えました。この考えに感動、共感しました。そこに至るまでの根拠をおさえながらの深い思索にも敬服しました。

ただ、気をつけなければいけないと思うことも

ありました。それは「本当に」ということです。あるいは「真に」と言い換えられるかもしれません。

脳裏によぎった心配は、以下のことです。

「本当に」「真に」ということは、神でもない人間には、容易には解明できないことのはずです。実験によって証明できることであれば可能かもしれません。

しかし、人間の幸福を実験によって証明することは、ほとんど不可能です。

よって、「本当の」「真の」幸せがある一方で、「本当でない」「真には正しくない」「偽りの」「独善的な」幸せも存在してしまうのではないかということなのです。

偽りの幸せは、自分以外の多くの人の不幸せの上に成り立っているのかもしれない。しかし、「偽りの幸せ」を「本当の幸せ」だと思い込んでいる人には、罪悪感は一切ないでしょう。

「本当の」「真の」幸せということとは、「本当にこれでよいのか」「真に正しいことは何なのか」と、自問自答することをやめてしまった瞬間に、「偽りの」「真には正しくない」幸せへと墜ちてしまうのではないのでしょうか。本の趣旨は、そのことも含んでいるのではないかと感じました。

自分なりに考え行動した結果を**自省して、より「善い」「正しい」行動とは何かを考える。**そのような人が多くなることが、幸せな社会を実現することに繋がっていくのではないかと考えました。

子どもたちにも、自省し考えるための基礎を身につけさせたいものです。



11月の行事予定

- 1日(水) 中学校区別協議会(午前授業 下校13:15)
◆1の1,1の2,3の1,4の2,4の3,5年は5時間目あり
ふれあい月間始(30日まで)
- 2日(木) 避難訓練 起震車体験(6年)
お手伝い探検(2年)
- 3日(金) 文化の日
- 6日(月) 午前授業(校内研究会のため)
5の2は5時間目あり)
- 7日(火) 安全指導 学芸会会場設営・準備(5年)

- 10日(金) 学芸会係活動(6年)
- 11日(土) 学校公開日 救命救急講習会(6年)
- 13日(月) 学芸会係活動(6年)
- 16日(木) 就学時健康診断(下校13:00) 特別時程
- 22日(水) 学芸会(児童鑑賞日)
- 23日(木) 学芸会(保護者鑑賞日)
(給食あり。帰りの会等してから下校。)
勤労感謝の日 学校評議委員会
- 24日(金) 振替休業日
- 26日(日) 学校応援団まつり受付9:30~
- 27日(月) クラブ活動 読書旬間(12月9日まで)
- 28日(火) クリーン運動(5時間目)
- 29日(水) 午前授業(区内全体研究会のため) 特別時程

起震車体験について

昨年1年間、日本では震度1以上の地震が6587回観測されたそうです。日本に住んでいる限り、地震とは縁が切れることはありません。

石神井小では、毎月想定を変えて避難訓練を行っています。年に1度地震の避難訓練にあわせて起震車にきてもらい、6年生が全員起震車体験を行います。今年度は、11月2日(木)を予定しています。震度6～7の揺れがどのようなものか、映像などで見たことのある子はいませんかと思いますが、身をもって体験することはほとんどないと思います。いざというときにパニックにならず、落ち着いて行動できるようしっかり体験してほしいと思います。



クリーン運動について

11月28日(火)

5校時 13:30～14:25

練馬区では、ふれあい月間の取り組みの一環として、毎年「クリーン運動」を実施しています。これは、「地域の清掃活動等を通して地域の人々とのつながりをもつことにより、地域社会の一員としての自覚を高める」ことを目的としています。

保護者の皆様とともに校庭(低学年)、石神井公園内(中・高学年)の清掃活動を行います。是非とも活動の趣旨をご理解いただき、ご多忙とは思いますがクリーン運動へのご参加をよろしくお願いいたします。

後日、詳しい内容が書かれた手紙を配布します。



学芸会(11/22・23)

石神井小学校では、展覧会と学芸会が1年交替で行われ、今年は学芸会の年になります。

10月末より子どもたちは、本番に向けセリフや動きの練習、小道具や衣装などの準備に、一生懸命取り組んでいます。「このセリフは、どういうふうにしたらいいかな。」「〇〇さんの言い方、上手だから真似してみよう。」「一緒に動きを考えよう。」など、友達同士、協力したり励まし合ったりしています。

ご多用中と存じますが、当日は是非ご来校の上、子どもたちの活躍や成長をご覧いただけますようよろしくお願いいたします。なお、各学年の演目につきましては、後日配られるプログラムをご覧ください。

きこえとことばの発表会のお知らせ

日時:12月12日(火) 14:00～16:15
場所:石神井小学校 体育館

幕開けは、「大声コンテスト」です。ステージの上から力一杯声を出します。前半は、ことばの教室の子どもたちの発表です。初めて演奏する「ハンドベル」、何事にもちゃんと理由があるのです!「音読劇 りゆうがあります」、体で表現「パントマイム」、ドキドキわくわくの物語へ招待します!「お気に入りの物語」、まちがい探しや絵しりとりなど楽しいクイズが盛り沢山の「クイズの時間」、ふしぎなトンネルをくぐるとどうなるのかな?「へんしんトンネル」、みんなで気持ちを合わせて「やってみよう!(合奏と歌)」。後半は、きこえの教室の子どもたちの発表です。きこえの教室って何するところ?「ウェルカム トゥ きこえの教室(劇)」、デフリンピックの応援歌「ヒーロー」の手話ダンス。

きこえとことばの教室の子どもたちは、皆で揃って練習というわけにはなかなかいきませんが、各自めあてをもって頑張っています。ご声援をお願い致します。